

市民協働推進ニーズ調査事業実施報告書

※各項目はできるだけ簡潔かつ具体的に記載してください。

※枠の幅は自由に変更してください。なお、全体で A4 サイズ 4 ページ以内に収まるように作成してください。

提案団体	団体名	特定非営利活動法人タブララサ			
	担当者氏名 連絡先	としね やよい 利根 弥生			
		住所 〒700-0921 岡山市北区西古松2丁目4-7 電話 086-897-3095 Eメール info@nporasa.org			
合同提案団体 (あれば)	(なし)				
岡山市の協働課	課名等 担当者氏名 連絡先	環境局環境部環境事業課資源循環推進室 平田 健二 086-803-1321			
調査事業	名称	イベントによって発生するごみ削減に向けた実態調査			
	目的	イベントで使用される、主にワンウェイ(使い捨て)容器のごみについて、排出量や処分方法などの課題を把握することを目的に実施。			
	対象及び 数量	主に岡山市内の、NPO、民間事業者、町内会あるいは市主催のイベント 質問紙の送付数は 167 件、回答数は 51 件であった。			
	調査方法	郵送、メール、イベント主催者ホームページや SNS にて調査用紙を送付。 Google フォーム、メール、FAX にて回答を収集。 内2事業者6件については、詳細を把握するためオンラインによる聞き取りを行った。 イベントの現地視察を行い、個別事例を収集した。			
	工程	月	内容		担当
		8	質問紙送付先の情報収集 SDGs フェスタでの予備調査の実施		利根・砂廣・岸本
		9・ 10	質問紙・調査依頼文の作成、発送準備		利根・砂廣・岸本
11		質問紙送付、個別聞き取りの実施(6件) 個別事例収集のためのイベント現地視察		利根・砂廣・國友	
12 ・1		質問紙送付、回答内容の集計		利根・砂廣・國友	
2	回答内容の集計、報告書作成		利根・砂廣・國友		

<p>調査事業</p>	<p>調査結果概要 (詳細は別途添付してください)</p>	<p>(※詳細な調査内容および結果は別紙にて)</p> <p>環境にやさしいイベントの実現について、イベント主催者の環境への配慮に対する関心と、環境に配慮した工夫の有無とその実態を調査した結果、「ごみの発生が少ない、環境にやさしいイベントの実現に関心はありますか?」という問いに対して、すべての回答者が関心が「ある」と回答。関心がある中でも実際に取り組みをしているかを問う「今回のイベント(企画から運営まで)を通して、環境に配慮した工夫がありましたか?」の質問へは、工夫が「あった」とする回答が74.5%寄せられた。ただしこの回答のうち、ごみの減量やエコ素材の使用等の工夫は約半数であり、他はごみの分別をしている、などの基本的な取組を工夫とする回答が目立った。</p> <p>また、工夫をしたかったができなかった、工夫がなかった理由として、工夫の仕方がわからないことや費用負担への懸念、コロナ対策などの優先順位を考慮して手が回らなかったとの記述が見受けられた。</p> <p>次に、イベントで出たごみの処理方法については、「ごみ収集業者に回収を依頼した」「ごみ処理業者のセンターへ持っていった」「ごみは出なかった」などイベントによる違いが見られたが、「家庭ごみとして処理」した趣旨の回答が11件寄せられ、ごみの適正な処理方法を周知する必要性が感じられた。また、イベントの規模とごみ処理にかかる費用負担の関連性をみると、イベントの規模が小さいほど相対的に負担が高いことがわかった。飲食を伴うイベントで出たごみの分別方法については、少なくとも3分別(紙やプラスチック類(一般的な燃やせるごみ)、資源化物、残飯)は必要であると考えるが、実際には2分別以下でごみを分別しているイベントが約半数となった。</p> <p>また岡山市内で開催されたイベントの現地視察で収集した個別事例では、出店者と主催者間の情報共有や来場者への丁寧な声かけによって、ごみの適正な処理や分別に効果がもたらされることなどが見えてきた。</p> <p>上記のような結果から、今後はイベントにおけるごみ処理の方法の周知や、それぞれのイベントに見合ったごみを減らすための工夫を提案していくことの必要性が明らかとなった。</p>
<p>本調査を踏まえて提案したい協働事業の予定</p>	<p><input type="checkbox"/>岡山市との協働事業を実施する予定 <input checked="" type="checkbox"/>市民協働推進モデル事業に提案する予定。 <input type="checkbox"/>その他()</p> <hr/> <p>提案(実施)する予定の事業計画案概要 < 提案書より抜粋 > 岡山市内のイベントにおけるごみの排出削減を目的とし、「先行事例収集、認証制度構築」「イベントへの直接サポート」「コンテンツ、ノウハウ情報発信」を柱に事業を展開。 先行事例などを視察、それを踏まえて岡山市内で約10件のイベント運営をサポートし、取組内容のアーカイブ情報をWEBに掲載する。また、随時取組の効果を検証し、エコイベント認証制度(仮)の構築に向けて市担当課らと協議を進める。</p>	

市民協働推進ニーズ調査事業収支決算書

単位(円)

調査事業名	イベントによって発生するごみ削減に向けた実態調査
-------	--------------------------

(収入)

	費目等	金額
自己資金等	実施主体	自己資金 122,570 円
	合同提案団体	円
	合計(a)	円
事業収入	事業収入	円
	合計(b)	円
岡山市補助金申請額(c)		487,000 円
収入合計(d) = (a)+(b)+(c)		609,570 円

(支出)

	費目	金額	内訳
経費	人件費	337,000 円	別紙参照
	旅費	1,500 円	現地視察
	消耗品費	550 円	封筒
	印刷製本費	62,120 円	報告書 350 部
	通信運搬費	8,400 円	質問紙発送用
	委託料	200,000 円	報告書デザイン費
総事業費		609,570 円	※収入合計(d)と同額

※領収書等の支払の実績を証明するものを添付してください。

※会議費、交通費等の支払の場合はその目的・場所等がわかる資料を添付してください。

※人件費の場合は業務従事日、時間等を添付してください。